

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024 年 5 月 21 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部商学科
留学（渡航）した時の学年	3 年生
帰国年月日	2024 年 5 月 10 日
明治大学卒業予定年月	2025 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	ジョージア大学 （日本語名） University of Georgia （現地言語名）
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/
留学期間	2023 年 8 月～2024 年 5 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名 日本語名： 現地言語での名称： ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他：
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他：
学年暦 ※記入例： 1 学期： 4 月上旬～7 月下旬 2 学期： 9 月中旬～2 月上旬	1 学期： 9 月～12 月 2 学期： 1 月～5 月 3 学期： ～ 4 学期： ～
学生数	30700 人
創立年	1785 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料	明治大学の学費	円	交換留学のため、明治大学の学費
宿舍費	8014 ドル	円	
食費	4258 ドル	円	
図書費	400 ドル	円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費	0	円	
現地交通費	0	円	(☐ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	円	
被服費	0	円	
医療費	1200 ドル	円	保険適応前は 3500 ドル 日本で全額補償予定
保険費	1000 ドル	円	形態：現地の保険に強制加入
渡航旅費	2500 ドル	円	往復
ビザ申請費	大使館 web サイトを 参照してください	円	
雑費	3000 ドル	円	雑費。生活用品などに使用
その他		円	
その他		円	
合計	20372 ドル	3,055,800 円	150 円で計算

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田空港 目的地：ハーツフィールド・ジャクソン・アトランタ国際空港 経由地：

復路 出発地：ハーツフィールド・ジャクソン・アトランタ国際空港 目的地：成田空港 経由地：カナダ

渡航費用

- ① 往復チケットを購入した場合
航空会社：デルタ

料金：約 40 万円

- ② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：デルタ 料金：20 万円

復路 航空会社：エアカナダ 料金：15 万円 ∴合計：35 万円

航空券購入方法

☐ 旅行代理店（店名： ）

☒ インターネット（サイト名：Expedia ）

☐ その他（ ）

滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎等）

☒ 学生寮（寮の名前：Rooker Hall）

☐ アパート

☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋（同居人数 ）

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン（☒ 自炊可 ☐ 自炊不可）

4) 住居を探した方法：

大学の案内

5) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）

基本的な設備は非常に満足いく物だった。QOL はルームメイトに大きく依存する。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。
(例：現地の病院、学内の診療所)

- ☐ なし
☒ あり (治療を受けた場所：現地の病院)

2) 留学期間中、学内外で問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- ☐ なし
☒ あり (問題の内容や相談した人等：保険会社)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

友人からの情報や大使館からのメッセージ。大学の敷地内は基本的に安全である。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学のWi-Fiは高速で安定しており、敷地内であればどこでも使えた。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？

(例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で使っていた銀行口座をそのまま使用した。デビットカードで全ての支払いを行なった。しかし、オンラインショッピングなどをする際にアメリカの billing address が必須なので現地でデビットカードを作ることをお勧めする。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

インスタント系の日本食、化粧品や薬など。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

それぞれ学期初めに支払いを行う。flywire というサイトを経由して支払った。周りの留学生もこれを利用していたのでおすすめである。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入）	
1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
18 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません（理由： ）
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☐ メール ☐ その他（ ） ☐ 履修の制限があった：	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名（留学先大学言語）	履修した授業科目名（日本語）
FHCE3200 Intro to Personal Finance	
科目設置学部・研究科	FINANCE
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 70 分が 2 回
担当教授	
授業内容	TED にも出演したことがある教授が講義を行う。基本的に一方通行の授業であるが、たまに生徒を指名して意見を求めることがあった。
試験・課題等	試験や課題は全てオンラインを通して行われる。課題は毎週行われるクイズや定期的に発表されるレポート。試験は 4 択問題。
感想を自由記入	教授の英語は非常に早く、集中する必要がある。授業内容は日々の生活に関わることが多いため理解しやすい。人生におけるお金との付き合い方を学べるが、制度やサービスの例はすべてアメリカ人住んでいること前提なので今後活かせるかと問われると疑問が残る。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	履修した授業科目名（日本語）
GEOG1101 Human Geography	
科目設置学部・研究科	GEOGRAPHY
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	
授業内容	教授が指定した教材をオンラインで確認し、課題を提出する。そしてその課題に対する解説や考え方などを授業で確認する。
試験・課題等	毎週 20 ページほどの課題を読み、自分の意見を書く。
感想を自由記入	教授は非常に親切であったが、授業内容が全く馴染みのないものであり理解できなかった。日本で同様の授業を学んでいてある程度理解がある生徒ならばこの授業をおすすめできるが、初学で受けようと考えている生徒にはおすすめしない。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	履修した授業科目名（日本語）
GEOG1112 Intro to Weather and Climate	
科目設置学部・研究科	GEOGRAPHY
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	
授業内容	教授が小道具を用いて、視覚的に講義を行う。クラス全体で授業を作り上げる雰囲気があり、非常に授業自体を楽しむことができた。
試験・課題等	毎週出されるクイズと、クラスメート同士で疑問を提示し、解決し合う課題があった。
感想を自由記入	一番面白かった授業である。教授が毎回工夫に富んだ授業を行ってくれるため、内容を理解しやすかった。また、クラスメート同士の交流を作ってくれるため友人を作ることにもできる。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	履修した授業科目名（日本語）
LAND 1500E Design and the Environment	
科目設置学部・研究科	LAND
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	オンデマンド授業（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	
授業内容	教授が作成した授業動画を見て、その指示に従い課題を行う。
試験・課題等	90%課題で評価され、10%は簡単なクイズがあった。
感想を自由記入	課題は実際に図面などを作成したりするものが多く、時間がかかったが、楽しんで行うことができた。また、オンラインで授業が行われるため、自分のペースで受講することができる点も良かった。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	履修した授業科目名（日本語）
PSYC1101 Elementary Psychology	
科目設置学部・研究科	Psychology
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	
授業内容	動画や模型を用いた授業
試験・課題等	課題は毎週デジタルの教科書を読み、それに関連するクイズを解く。学部が行っている調査に強制的に協力しなければならないため少し面倒である。試験は一学期に四回あり、全て教科書と講義内容から出題される。
感想を自由記入	専門用語が多いため、試験は言語の観点から少し大変である。しかし、授業内容やテスト内容自体は非常に簡単であるため、英語に苦手意識のない学生ならば難なくこなせると思う。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	履修した授業科目名（日本語）
ECON2200 Economic development of U.S.	
科目設置学部・研究科	Economic
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	
授業内容	教授の手元がスクリーンに映し出され、それを見ながらノートを取るという授業形式。計算式とグラフを用いてアメリカの経済史で起こった出来事を学んでいく。歴史の授業とは違い、文がメインではなく計算がメインであることに注意。
試験・課題等	三回試験がある。試験の前に授業の振り返りを兼ねた課題が出される。他に課題は一切ない。試験は 4 択。
感想を自由記入	計算やグラフが多く、数学に苦手意識がある学生は受講することをお勧めしない。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	履修した授業科目名（日本語）
LING2100 Syudy of Language	
科目設置学部・研究科	LING
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	
授業内容	教授がスライドを用いて授業を行う。
試験・課題等	単元が終わるごとにボリュームのある課題がオンライン上で出される。クイズと称するテストが 4 回ほどあった。学期の最後にプレゼンテーションを行わなければならない。
感想を自由記入	発音や英語の語源、英語を用いて他の言語を分析するため、ネイティブスピーカー出ないと理解することが難しい。教授は非常に親切で留学生への配慮をしてくれた。学期の最後にグループを作り、プレゼンテーションを行わなければならない。内容は自由なので比較的容易だったが、発表までの準備が大変であった。

履修した授業科目名（留学先大学言語）		履修した授業科目名（日本語）	
MARK3001 Principle of Marketing			
科目設置学部・研究科	Marketing		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回		
担当教授			
授業内容	教授がスライドを用いて授業を行う。		
試験・課題等	試験は四回あり、そのうち三回で高得点を取れば、最後のテストは受けなくても良いというシステムだった。課題は週に二回オンライン上で出される。内容はデジタルの教科書を読み、それに基づくクイズを解く。学部が行う調査に協力しなければならない。		
感想を自由記入	教科書自体がよくできており、楽しみながら勉強することができた。テストは計画性を持って勉強しておかないと高得点を取ることはできない。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）		履修した授業科目名（日本語）
SOCL 1101 Introductory Sociology		
科目設置学部・研究科	Sociology	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授		
授業内容	教授がスライドを用いて授業を行う。時折学生に意見を求めている。	
試験・課題等	一週間に一度クイズがある。また、クラス内で提出するライティングの課題もあった。（授業後でも提出できたため、時間をかけることができる）テストは網羅的に出されるため、授業ノートを取る必要がある。	
感想を自由記入	内容自体は非常に面白かったが、テストの負担が大きかった。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☐就職 ☐進学 ☒未定 ☐その他：

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

特になし

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。

内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。

就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

商社業界を希望している

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)

就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。

就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を

教えてください。

結論：留学して大丈夫です。準備次第でなんとかなります。現在はインターネットを用いた面接など、自分の工夫と企業様の配慮次第でいくらかでも海外から就活はできます。そのため、1、2 年生はもちろんのこと、3 年生でもガクチカに留学を使わないのであれば安心して留学をして大丈夫です。特にボストンで行われるボスカリは非常にいく価値のあるイベントです。日本では手の届かない企業でも人事の方と直接話ができるため、自分をうまく売り込むことができたなら面接に進むことができます。※留学の経験をガクチカに使いたいのであれば遅くとも 2 年生までに交換留学をしましょう。(選考早期化のため、インターンの ES に留学の経験を書くことができません。)

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

未定

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

未定

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

未定

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
 (例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	両親に留学について話し合い
留学開始年	1月～3月	志望校決定、語学勉強開始
	4月～7月	目標スコア取得
	8月～9月	留学開始、秋学期開始
	10月～12月	期末試験
留学/帰国年	1月～3月	冬季休暇、春学期開始
	4月～7月	期末試験、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

留学先を選んだ理由

- 1 必要とされる英語のスコアが比較的高く、競争率が低かったから。
- 2 留学生の割合が1%と非常に少なく、英語に浸れる環境であったこと。
- 3 大学のあるアセンズという街が綺麗で、治安が良かった。
- 4 学びたいビジネスの分野が有名であった。
- 5 フットボールをはじめとするスポーツ強豪校であり、それに伴うイベントが豊富であること。

UGA の実際に良かった点

- 1 設備が非常に充実している。ジム、食堂、バスケットボールコート、プールなど、どの設備を取っても不満は一切なかった。食堂は非常におすすめである。
- 2 気候が良かった。一年を通して温暖な気候であり、頑張れば一年中半袖半ズボンで過ごすことができる。
- 3 生徒が素晴らしい。留学生に対して理解を示してくれる生徒が非常に多く、何度も助けられた。
- 4 教授が親切。教授陣も留学生に対して配慮をしてくれる方が多く、不安を抱えずに授業を受けることができた。
- 5 まだまだ書ききれないことがあります。一つ断言できることがあるとすれば、UGA を選んで後悔することはないということです。TOEFL のスコアを満たしているなら、UGA を選んでください。あなたが想像している留学の全てを叶えることができます。

留学を志す人へ

目的はどうかあれ、もしも「留学をしてみたい」という素敵な気持ちが自分の中にあるのならばぜひ自信を持って挑戦してみてください。留学を終えた後には見違えるほどの自分が待っているはずです。人生で貴重な大学生の一年間を留学に使う価値はあると断言できます。しかし、それ相応の覚悟も必要であることも忘れないでください。自分なりの目標を持ち、それに向かって頑張れる人なら留学はどんなことよりも自己を成長させてくれる貴重な機会になるはずです。

留学前に私も多くの先輩にアドバイスをいただきました。何か気になることや、不安なことなどがありましたら、事務室を通してなんでも相談してください。できる限りサポートします。